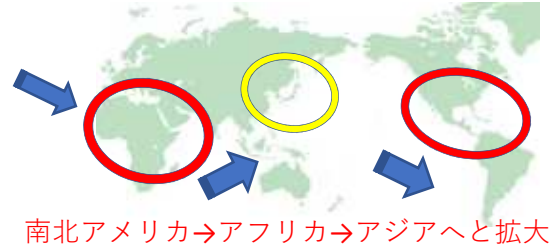


# 「ツマジロクサヨトウ」の防除

登録農薬による防除を!!

- ・南北アメリカで発生以降、アフリカ、アジアまで発生範囲を拡大。日本では令和元年7月に初発後、全国的に拡大（飼料用トウモロコシで多発）
- ・県内では令和2年10月にスイートコーンで確認
- ・今般、農薬の変更登録が行われたので、本虫に対しては別紙の登録農薬を用いて防除してください。



## ツマジロクサヨトウの特徴

### 幼虫の食害による被害



幼虫が葉、茎、子実を食害

### 飛行距離が長い、繁殖力が強い



- ・気流に乗って長距離移動する
- ・1回の産卵数は150～200個
- ・生涯産卵数は最大1000個

### 形態の特徴



- ・幼虫の頭部には網目模様があり、「逆Y字」に見える。
- ・幼虫の体長は、1.7～40mm

多発すると被害が大きくなるおそれ!!

早期発見・早期防除  
が不可欠



農薬散布による防除



早期の収穫

### 被害の拡大防止のため、

- ✓ 飼料用とうもろこしのほ場に発生していないか確認してください。（判別が難しい虫が見られた場合は、問合せ先へ相談してください）
- ✓ 防除にあたっては、別紙に示す登録農薬の散布、早期の刈取を検討してください。刈取後は速やかに耕転してください
- ✓ 飼料用とうもろこしほ場から、近隣のスイートコーンほ場へ被害が拡大する恐れもありますので注意してください。



# 「ツマジロクサヨトウ」にご注意ください。

トウモロコシ、イネ、サトウキビ、サツマイモ、野菜類を食害する「ツマジロクサヨトウ」と思われたらご連絡ください。



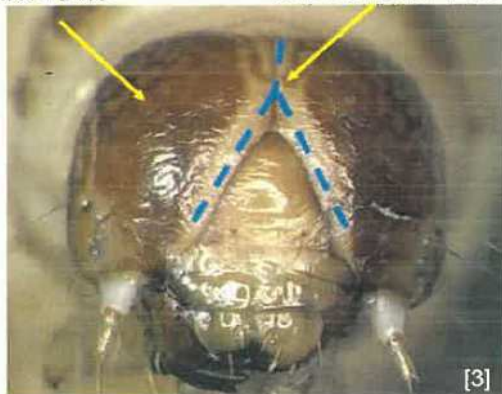
## 特徴

- 幼虫は大きくなると体長約 4 cm, 体色は左の写真のように変化があります。
- 頭部には網目模様があって「逆Y字」に見えます。

網目模様

淡色部は逆Y字状

被害の状況



幼虫の寄生



[1]~[5] は植物防疫所原図

(※) ツマジロクサヨトウに関する情報はこちらで確認

([http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k\\_kokunai/tumajiro.html](http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/tumajiro.html))

## ツマジロクサヨトウ登録農薬一覧

農薬の名称	作物名称	使用方法	希釈倍数使用量	散布液量	本剤の使用回数
パダン S G水溶剤	飼料用とうもろこし	散布	1000~1500倍	100~300L/10a	2回以内
オルトラン水和剤	ソルガム	散布	1000倍	100~300L/10a	3回以内
デルフィン顆粒水和剤	飼料用とうもろこし	散布	500倍	100~300L/10a	-

### 【問合せ先】

山梨県東部家畜保健衛生所

TEL055-262-3166

山梨県総合農業技術センター（病害虫防除所）

TEL0551-28-2941